

地域福祉論Ⅱ

担当教員 佐藤 林正

配当年次 2年

開講時期 第2学期

単位区分 選択

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

1. 利用者本位の視点に立ち、地域での自立的生活支援のあり方や内容について理解する。
2. 地域福祉計画の考え方や方法を理解し、福祉における計画化の重要性について理解する。
3. 福祉教育の考え方や方法を理解し、共生社会のあり方と重要性を理解する。
4. 社会福祉協議会、ボランティア活動、NPO活動等、具体的な地域福祉活動の諸活動や地域福祉に関わる制度について理解する。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	住民参加と方法・意義
2	ソーシャルサポートネットワークの考え方
3	地域における社会資源の活用・調整・開発 社会資源と活用法
4	まちづくりとソーシャルアクション
5	地域における福祉ニーズの把握方法と実際 福祉ニーズとアウトリーチ
6	地域における福祉ニーズの把握方法と実際 福祉ニーズの把握方法
7	地域トータルケアシステムの構築と実際 地域トータルケアシステムの考え方
8	地域トータルケアシステムの構築と実際 地域トータルケアシステムの展開方法
9	地域トータルケアシステムの事例と専門職の研修
10	地域における福祉サービスの評価方法と実際 背景と評価の考え方
11	地域における福祉サービスの評価方法と実際 福祉サービスの評価方法
12	地域福祉に関する海外の考え方 イギリス
13	地域福祉に関する海外の考え方 アメリカ
14	地域福祉推進の課題と展望
15	まとめと確認

【履修上の注意事項】

地域福祉論Ⅰの理解の上に本授業を行うので、1学期の地域福祉論Ⅰをきちんと履修すること。また、毎回の講義に際しては、シラバスに沿って講義該当箇所の内容を学習するとともに、講義後は、講義内容の再確認を行うこと。

【評価方法】

- ① レポートの提出、期末試験の総合点で判定する。したがって、受講学生は、講義に必ず出席し、課題についてはきちんと提出するよう心がけること。
- ② 評価の方法は、レポート20%、試験80%の割合で行う。

【テキスト】

新・社会福祉士養成講座 第3版 第9巻「地域福祉の理論と方法」社会福祉士養成講座編集委員会編集、中央法規。

【参考文献】

参考書については、別途授業の中で指示する。
テキストの他に、必要に応じてその都度資料を配布する。